

令和4年度（2022年度） 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名	富田林商工会
	代表者職・氏名	会長 村元 保男
	所在地	富田林市粟ヶ池町2969番地の5
	担当者	職・氏名 事務局長 寺内 一裕
	連絡先	TEL（直通）： 0721-25-1101 Fax： 0721-25-9009 E-mail： info@tonshow.or.jp
①設立年月日 ②職員数 （うち経営指導員数） ③所管地域 ④管内事業所数 ⑤管内小規模事業者数 ⑥会員数（組織率）		昭和 37 年 7 月 22 日 9 名（経営指導員 9 名）（令和 5 年 3 月 31 日現在） 富田林市・河南町・太子町・千早赤阪村 4,395 （平成 28 年度経済センサス） 3,867 （平成 28 年度経済センサス） 1,927 （ 43.8 %）（令和 5 年 3 月 31 日現在） ※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること
<input type="checkbox"/> 主な事業概要（定款記載事項等）		
(1) 商工業に関し相談に応じ、又は指導を行うこと。 (2) 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。 (3) 商工業に関する調査研究を行うこと。 (4) 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。 (5) 展示会・商談会等を開催し、又はこれらの開催の斡旋を行うこと。 (6) 商工業に関する施設を設置し維持し、又は運用すること。 (7) 商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 (8) 行政庁等の諮問に応じて答申すること。 (9) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。		

(1) 事業の目標

管内事業所においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長引いており、また、断続的な感染の再拡大等もあり事業者にとって多大な影響を及ぼしている。売上の減少や原材料の高騰などもありさらに厳しさを増しているのが現状である。また、人口減少による労働力不足や高齢化による後継者不足など地域の事業者にとっては厳しい環境が続いている。それらの状況を踏まえ、令和4年度はこのような状況の中、事業者のニーズに沿った各種支援をリアルタイムで提供できる体制を整えるとともに、経営相談窓口を設置するなど課題解決に向けたサービスの提供を行うことを目標とした。また、当会経営指導員と専門家と連携を図りながら伴走型支援を実施することで、専門的且つ高度な支援を行うことができ、さらに、関係支援機関、各種専門家と連携を強化し、コロナ禍の小規模事業者のニーズに適した各種事業を実施する。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

令和4年度については、長期化する新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けている事業者、ニーズに沿った支援をリアルタイムで実施できる体制を構築するとともに、資金繰りなどの金融に関する支援、販路開拓につながるような補助金施策、それに伴う事業計画書作成等伴走型の支援を重点的に行った。また、適格請求書等保存方式導入を見据えた職場環境整備を行う5S支援や取引の変化等からくるコスト削減支援なども継続的に実施した。さらに、非対面ビジネスモデルとしてのSNS等の利活用、新たな販路の開拓につながる展示商談会等の情報発信などを強化しながら実施した。また、専門的知識が必要な場合においては、大阪府よろず支援拠点等関係支援機関等と連携し、解決に向けた支援を積極的に実施した。

地域活性化事業については、新しい取り組みとして若年者雇用につながるような大学とのインターンシップ事業や高校生採用支援事業を実施、地域での新たな労働力の確保につなげた。その他事業については、昨年に引き続き小規模事業者の販路開拓、情報発信力の強化に重点を置いた事業を実施、また地域の魅力を発信できる事業も合わせて実施した。今年度は、アフターコロナを見据えた事業を重点的に実施した。

(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

小規模事業者が抱える様々な課題を窓口、巡回指導を通じて実態を把握し、課題解決に向けた支援を行った。新型コロナウイルスの感染症拡大による問題や課題に迅速に対応するための経営相談窓口を設置したことで、事業者のニーズに沿った支援をリアルタイムで実施することにより、求められている支援を実施することができた。また、大阪府よろず支援拠点等と連携し、専門的分野についても効果的な支援ができたと思われる。コロナ禍において、事業者が必要としている様々なニーズに迅速かつ的確に対応することで、地域での商工会の役割を果たすことができたと考えている。

また、地域活性化事業についても、アフターコロナを見据えた労働力の確保、若年者雇用につながるような事業を新たに実施したことで新たな労働人口の底上げにつなげた。また、非対面型ビジネスモデルの推進につながるITツールの活用支援事業、販路の開拓ツールとしてとんだばやしバル事業などを実施したことで、コロナ禍における小規模事業者のニーズを把握し、実施したことで地域経済の活性化につなげることができたと考えている。

今後も継続して地域経済の活性化につながるような事業を実施していきたいと考えている。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長引き、小規模事業者は、経営基盤の見直しを余儀なくされているのが現状である。資金繰り計画などを含めた中、長期的な視野での具体的な事業計画の必要性を感じる。また、新型コロナウイルス感染症以前の事業形態とは違った形での経営形態が必要であり、新たな形を提案、計画し、アフターコロナに対応できるように推進していく必要がある。業種によっても課題は様々であり、それぞれの違ったニーズに対応できる体制作りが求められる。

(5) 次年度の取り組み

次年度も個別支援に重点を置き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等を受けている事業者によりリアルタイムで必要だと思われる支援を迅速に行う。また、原材料の高騰や、労働力の低下など小規模事業者にとっては様々な課題が山積しており、それらの諸問題を即時に対応できる体制づくりを行うと共に、地域活性化事業に必要な情報提供を行い、個別支援を経てカルテ化につなげていく。今年度もアフターコロナを見据えた経営に関する相談に対応する必要があることから、関係支援機関、専門家団体とより連携を図りながら支援を充実させていきたいと考えている。今年度も経営指導員の資質の向上がより求められることから、OJT制度を導入し、経営指導に必要なスキルを習得できる仕組みづくりを行い若手経営指導員の資質の向上を図る。また、アフターコロナに対応した経営指導を行うことにより、経営基盤の再構築、地域経済の活性化、持続可能な事業経営を図っていきたいと考えている。

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>新型コロナウイルスの感染拡大により影響を受けた事業者支援を優先的に実施することに重点を置き、事業の再構築、経営基盤の強化などアフターコロナに向けて取り組んでいけるように内容等を検討しながら、地域の活性化を図る目的で、事業を実施した。今回、新たな取り組みとしてアフターコロナに向けた人材確保を目的に新規事業として中小企業における地域若者人材確保支援事業を実施した。また、新たな労働力の確保として中小企業における高校生採用支援事業を実施し、若年者層の雇用促進、地域での労働力の確保などについて積極的に取り組むことができた。その他の事業については、新型コロナウイルス感染症の拡大などによりこれからさらに重要となってくることが予想されるSNSなどを活用したITツール活用支援事業、小規模事業者の販路拡大につなげることのできる、富田林バル事業、地域ブランド開拓、情報発信事業など新たな販路の開拓に重点をおいたものを実施したことによりコロナ禍でも新規顧客の開拓などにつなげることができた。さらに、新たな事業者の育成、創出を目的に創業者支援事業を実施、多くの創業予定者が参加され、新規の事業者を創出、地域事業者の底上げをすることができた。上記の事業を実施したことで、アフターコロナに向けた労働力、人材の確保、新たな販路の拡大、情報発信力の強化など地域事業者のニーズに沿った事業展開ができ、一定の成果を上げることができたと考える。また、地域活性化事業（単独事業及び各地域と連携した広域事業）を実施したことにより、事業者の知識向上、広域での販路の拡大、新規顧客の獲得など地域小規模事業者（支援事業所）の成長改善等に貢献することができた。</p>										

(1) 単独事業

府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	地域ブランド開拓、情報発信事業	57	58	101.8%	100%	自社製品の販路拡大ができたと回答した割合	70%	89.50%	127.9%	5
	とんだばやしバル事業	55	51	92.7%	78.4%	新規販路の開拓ができた割合	70%	92.10%	131.6%	4
○	地域若者人材確保支援事業	25	19	76.0%	89.5%	若年者雇用に対する知識が向上した企業割合	80%	100%	125.0%	4
○	中小企業における高校生採用支援事業	15	12.5	83.3%	91.7%	高校生採用に関する知識が向上した企業割合	70%	100%	142.9%	5
○	雇用管理労務対策セミナー	30	21.5	71.7%	90.5%	雇用管理について理解を深めることができた企業割合	70%	90.50%	129.3%	4
○	BCP普及啓発事業	22	16	72.7%	93.8%	簡易版BCP作成シート作成企業割合	20	22	110.0%	4

(2) 広域事業（幹事業のみ）

府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	ITツール活用支援事業	107	104.5	97.7%	96%	ITツール活用に関する知識が向上した割合	70%	94.50%	135.0%	5
○	製品・商品・サービス魅力強化発信事業	25	18.5	74.0%	100%	製品・商品・サービスに関する知識が向上した割合	80%	100%	125.0%	4
○	創業促進事業	80	109	136.3%	91.7%	創業意識が向上した割合	70%	87.50%	125.0%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

富田林商工会

事業名		地域ブランド開拓、情報発信事業							
想定する実施期間		H22 年度～ 年度まで ※複数年段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	商工会管内小規模事業所において、商品力はあるが販売ルートが確立されていなかったり、事業展開が思うように進んでいない商品（製品）が多々ある。そのような商品（製品）をブランド商品として認定、PRすることにより販路の拡大や新規顧客の開拓等新たな事業展開を支援する。また、特産品をブランド化し情報発信することにより、地域の観光事業の活性化が図れ、地域振興や商工業発展に貢献することができる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	商工会管内の小売、サービス、製造、農林業等含めた全事業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>○市広報やHP等でブランド認定事業者を募集し、年1回富田林ブランド認定審査会を実施、認定商品を選定する。（今年度は新たに4事業所6商品を選定した。）認定商品に選ばれたブランド商品については事業者へ認定証、ブランド認定ロゴシールを発行する。また、大阪府内外でのイベント等PR可能な場所へはブランド認定委員会として出店しブランド商品の積極的な告知活動を実施した。また、認定委員会HPで消費者が直接購入できるような仕組みを作り上げたことによる新たな販路の開拓また、市町村と広域連携しながら南河内ブランド商品のPRの実施することができた。</p> <p>○太子町、河南町、千早赤阪村の特産品を南河内ブランド商品としてイベント等での販売を実施した。</p> <p>○地域で展示販売会を実施し、ブランド商品及び地域特産品のPR活動を行い、地域で作られたものであるということを消費者に知ってもらう機会を提供した。</p> <p>○事業全体に係るPRについては、今年度もHPを活用した販促活動を一部実施した。さらに新規顧客の獲得に繋がるような販売促進活動を強化した。</p> <p>○地域で数回展示販売会を実施し、ブランド商品及び地域特産品のPR活動を実施した。</p>							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
②広域連携									
③市町村連携	富田林市ブランド認定委員会へのオブザーバーとしての参画。また、富田林ブランド認定事業者募集記事の市広報への掲載。市町村と連携することで事業効果を高めることができた。								
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	57.0	総支援企業数(実績)	58.0	支援実績率	101.8%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>①新たに4社（6商品）を認定した。認定商品も29社32商品になり認知度向上につなげることができた。</p> <p>②新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、イベント等の未開催などがあったなかSNS等を活用した販売促進活動に努めた。</p> <p>③富田林市観光協会等と連携し、富田林ブランド商品の展示会等を実施、広く消費者にアピールすることができた。</p> <p>④コロナ禍において販売促進につながるようなパンフレットを作成、消費者へのアピールに努めた。</p> <p>⑤富田林市と連携し、6次産業のブランド登録促進に努めた。</p>							
		代表指標	自社製品の販路拡大ができたと回答した割合						
		数値目標	70%	実績数値	98.0%	目標達成度	140.0%		
	成果の代表事例	富田林市と連携し、6次産業商品のブランド認定を促進することで、新たな事業者の掘り起こしにつなげることができた。							
その他目標値の実績	目標値（計画）				目標値（実績）				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>本年も、新型コロナウイルスの感染症拡大の影響によりイベント等の多くが中止になっており、思うような販売促進活動はできなかった。次年度は、アフターコロナを見据えた取り組みを積極的に推進するとともに、SNSやHP等での情報発信力の強化を図りながら、事業者の新たな販路の拡大につなげていきたいと考える。また、大阪万博との連携も視野に入れ事業展開を実施していきたい。</p>							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	2.0	支援企業数(実績)	4.0	支援実績率	200.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	地域の特産品であることをPRするとともに、自社をPRすることができ来店者の増加、売上の増加につながった								
		指標	自社製品の販路拡大ができたと回答した割合							
	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%				
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	26.0	支援企業数(実績)	25.0	支援実績率	96.2%	満足率	100.0%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	地域の特産品であることをPRするとともに、自社をPRすることができ来店者の増加、売上の増加につながった								
		指標	自社製品の販路拡大ができたと回答した割合							
	数値目標	70%	実績数値	92%	目標達成度	131.4%				
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実績／達成度③	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	14.0	支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	地域の特産品であることをPRするとともに、自社をPRすることができ来店者の増加、売上の増加につながった								
		指標	自社製品の販路拡大ができたと回答した割合							
	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%				
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実績／達成度④	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	15.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	地域の特産品であることをPRするとともに、自社をPRすることができ来店者の増加、売上の増加につながった								
		指標	自社製品の販路拡大ができたと回答した割合							
	数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%				
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					

富田林商工会

事業名		とんだばやしバル事業							
想定する実施期間		H30 年度～ 年度まで ※複数年度段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	富田林市内の多くは、過疎などの人口減少問題や経済活動の縮小など地域の課題と呼ばれるものが多く存在し、地域社会、地域のコミュニティの維持すら困難な状況である。また、地域の商店会も同様に市場の縮小、後継者不足など様々な課題を抱えており、商店会として機能的に活動しているとはいいがたい。そこで、地域社会を維持発展させるためには地域での効果的な経済活動が必要である。地域の課題はニーズであり、そのニーズに対応するべく地域の課題を見直すことや視点を変えることがこれからは特に重要である。そこで、地域外から資金が流入する仕組みを作り、その資金を地域内で循環、それを動かす人材を育成することで地域に新しいビジネスや事業、事業者を創造、創出することを目的に、地域外からの消費者を呼び込むことで新規顧客の開拓、販路の拡大を目指す。また、事業者間でのネットワークづくりにもつなげることができ、地域力強化を目指す。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	富田林市内の小規模事業者を対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>開催日：(とんバル期間) 令和4年10月29日(土)から11月6日(日)の8日間開催 開催場所：富田林市内全域 開催内容：「とんバル」チケットを販売し、参加者は参加店舗が掲載されているバルマップを見ながらまち歩き、買い物、食べ歩き、飲み歩きなど富田林市内を散策してもらう。 参加店舗：市内の飲食、小売、サービス業等 ※実行委員会形式を取り、その中で富田林商工会は事業の企画立案、事業者の募集、マップ等の印刷物の製作、販促活動の支援等を実施する役目を担う。 参加企業数：51社</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
	③市町村連携	富田林市において、事業に関しての広報等を依頼。広くPRすることで、事業効果を高めることができた。							
	④相談相乗	カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	55.0	総支援企業数(実績)	51.0	支援実績率	92.7%	満足率	78.4%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	新型コロナウイルス感染拡大による影響を考慮しながら事業を実施した。継続して事業を実施している効果が出てきており、計画企業数よりは少なかったものの事業が地域に認知されてきていると考えられる。参加事業者も新型コロナウイルス感染症の拡大に対応したメニューの提供を工夫されるなど様々な形での参加につながり、より良いサービスを提供することができた。さらに富田林市と事業協力してPRに努めたことにより、事業効果が高まり、事業に対する知名度が上がったことで売上の増加、新規顧客の獲得につながることができた。							
		代表指標	事業を実施したことにより販路の拡大、新規顧客の獲得につながったと回答した割合						
		数値目標	70%	実績数値	92.1%	目標達成度	131.6%		
	成果の代表事例	新たに創業された事業者が、事業に参加することで自社PRをすることができ、新たな顧客の獲得につながることができた。							
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響がのこり、事業開催についても注意を払いながら実施したが、昨年より参加事業者が増え、事業実施に関して一定の成果はあったと感じる。今年度は、今まで展開できなかった事業内容を検討し、参加事業者を増加させることで、目標数値を達成していきたい。							
		目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			

富田林商工会

事業名		地域若者人材確保支援事業						
想定する実施期間		R4 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	少子高齢化で労働力人口の減少が予想される今、大阪産業の将来を担う若者と企業とを効果的に結びつけることが課題であり、その解決には地域レベルでその実情に合わせた地域企業の人材確保、キャリア形成支援とを充実させていくことが必要である。そこで、地域の若者を対象とし、地域の中小企業の人材確保に結びつくようなキャリア形成支援を促進する。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	富田林市内の小規模事業者を対象とする。						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①開催日時：令和4年8月29日(月)～9月2日(金) 開催場所：参加事業所 開催内容：地域事業者の若者受け入れ研修(インターンシップ) 参加企業数：8社						
		②開催日時：令和4年8月26日(金) 開催場所：富田林商工会館 会議室 開催内容：企業と大学生の交流会 参加企業数：11社						
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>						
		①府施策連携	大阪府と連携を図りながら事業を企画、運営、実施することができた。					
②広域連携								
③市町村連携	富田林市、河南町、太子町、千早赤阪村と連携し効果的なPRを行うとともに各行政の施策等を促進することができた。							
④相談相乗								
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	25.0	総支援企業数(実績)	19.0	支援実績率	76.0%	満足率	89.5%
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	①地域事業者が若者(大学生)をインターンシップ事業として受け入れることにより、若年者雇用の必要性を感じてもらうことができた。また、地域にどのような事業者がいるかなど知ってもらうことができたことにより、雇用の促進につなげることができた。 ②事業者と大学生の交流会事業では、事業者が若者の考え方や仕事に対する取り組みなどを直接聞くことができ、若年者雇用につなげることができたと考える。また、事業全体を通して、地域にある大学と連携できたことにより、今後の雇用の窓口が広がり、若年者雇用の促進につながった。						
		代表指標	若年者雇用に対する知識が向上した企業割合					
	数値目標	80%	実績数値	100.0%	目標達成度	125.0%		
成果の代表事例	インターンシップ事業や交流会に参加したことにより、若年者層の雇用の必要性を感じ、次年度から取り組む企業が見られた。							
その他目標値の実績	目標値		目標値		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もあり、事業の開催が難しかったが、実施したことと一定の成果はあった。しかし、大学生と事業者との日程など難しい部分もあり、また、短い期間で事業を実施しないといけないなど調整する部分が多く今後の実施は非常に難しいと考える。次年度は、一度中止し、事業を見直す期間として大学と調整しながら良い方法を模索していきたい。						

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	10.0	支援企業数(実績)	8.0	支援実績率	80.0%	満足率	87.5%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	学生と交流することで、自社の魅力を伝えることができ、地域企業に興味を持つきっかけになることにより、雇用の促進に繋がった。								
		指標	若年者雇用に対する知識が向上した企業割合							
	数値目標	80%	実績数値	100%	目標達成度	125.0%				
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	11.0	支援実績率	73.3%	満足率	90.9%	
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	学生と交流することで、自社の魅力を伝えることができ、地域企業に興味を持つきっかけになることにより、雇用の促進に繋がった。								
		指標	若年者雇用に対する知識が向上した企業割合							
	数値目標	80%	実績数値	100%	目標達成度	125.0%				
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					

富田林商工会

事業名		中小企業における高校生採用支援事業																																							
想定する実施期間		R3 年度～ 年度まで ※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること																																							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナウイルスの感染拡大が小規模事業者等にも大きな影響を及ぼしている。とりわけ、雇用情勢は大きく悪化しており、完全失業者数や休業者数は前年に比べ大幅に増加、就業者数や労働力人口は大幅に減少と見通しが立たなくなる一方で、特定の業種によっては、深刻な人材不足が見受けられる。今後、事業を継続、活性化させるためにも人材確保が急務であり、とりわけ若年者雇用に対する支援を積極的に行うことで、事業者の若年者採用意欲を高め、労働力不足を解消することを目的とする。																																							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内の小規模事業者を対象とする。(特に製造業からのニーズが高い)																																							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>①開催日時：令和4年10月28日(金) PM2:00～PM3:30 開催場所：富田林商工会館 2階 会議室 開催内容：①高校生採用の動向について ②高校生採用のルールについて ③高校生採用後の定着状況について 参加企業数：12社13名</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="7">大阪府と連携を図りながら事業を企画、運営、実施したことで、円滑な開催につながった。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7">市町村と連携し効果的なPRを行うとともに各行政の施策等を促進することができた。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="7">カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。</td> </tr> </table>								①府施策連携	大阪府と連携を図りながら事業を企画、運営、実施したことで、円滑な開催につながった。							②広域連携								③市町村連携	市町村と連携し効果的なPRを行うとともに各行政の施策等を促進することができた。							④相談相乗	カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。						
	①府施策連携	大阪府と連携を図りながら事業を企画、運営、実施したことで、円滑な開催につながった。																																							
	②広域連携																																								
③市町村連携	市町村と連携し効果的なPRを行うとともに各行政の施策等を促進することができた。																																								
④相談相乗	カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。																																								
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	12.5	支援実績率	83.3%	満足率	91.7%																																	
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	アフターコロナを見据えた雇用情勢の変化に対応するため、高校生採用の現状や定着状況などの若年者雇用に関して積極的に取り組んでいこうという姿勢が感じられた。現在採用している、今後採用を考えている企業が多数おられ、方向性、取り組み方などを情報提供することで、雇用意識を高めることにつながることができた。																																							
	代表指標	セミナーを受講することにより若年者(高校生)雇用に関する知識が向上した事業所割合																																							
	数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%																																			
	成果の代表事例	今まで高校生採用、若年者雇用に取り組んでこられなかった企業が、セミナーを受講したことをきっかけに若年者雇用に対する意識が向上し、採用に関しての取り組みを推進された。																																							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度																																				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	令和3年度、4年度と高校生採用支援事業として事業を実施したことで一定の成果は感じられた。今まで取り組んでこられなかった企業も採用への意識が高まり、雇用促進につなげることができた。次年度からは若年者だけではなく、新たに雇い入れた新規採用者の継続雇用につなげることができる職場環境の整備に重点置いた事業を実施する。																																							

富田林商工会

事業名		雇用管理労務対策セミナー							
想定する実施期間		H29 年度～ 年度まで ※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	近年、長時間労働など様々な労働に関する諸問題が取り沙汰されており、雇用主、被雇用者及び求職者などから労働環境についての関心が高まっている。それに伴い、管内の事業者では大規模事業者と比べ労働環境の整備が不十分であることから、求職者からの関心が離れる傾向にあり人手不足に陥っている。そのため、労働環境を整備し従業員の定着と人材不足を解消するため、専門家による雇用管理セミナーを開催し企業の課題解決につなげることを目的とする。また、新型コロナウイルス感染症への対策として、雇用維持のための調整助成金等の活用や多様で柔軟な働き方の導入も目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内の従業員を雇用する企業(全業種) 小規模事業者並びに中小企業の人事・労務担当者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①開催日時:令和3年7月21日(火)PM1:10~P4:30 開催場所:富田林市市民会館 1階 会議室 開催内容:労務実務担当者講習会 参加企業数:23社24名							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府と連携を図りながら事業を企画、運営、実施したことで、円滑な開催につながった。						
②広域連携									
③市町村連携	市町村と連携し効果的なPRを行うとともに各行政の施策等を促進することができた。								
④相談相乗									
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	30.0	総支援企業数(実績)	21.5	支援実績率	71.7%	満足率	95.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	新型コロナウイルスの感染が拡大している中での開催であったため、計画していた支援企業数を下回ってしまったが、セミナー内容の満足度は高く、成果はあったと考える。労働関係諸法令等の変更点や改正点などの知識の向上、また、基本的な部分の理解力の向上など、事業所内での労務管理スキルの向上につなげることができたと考える。							
		代表指標	雇用管理について理解を深めることができた企業割合						
		数値目標	70%	実績数値	90.5%	目標達成度	129.3%		
	成果の代表事例	セミナーを受講したことで、労務管理の知識が向上した。今までできていなかった部分などの再確認にもつながり、社内の環境整備につなげることができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	昨年同様、新型コロナウイルスの感染拡大中の開催であったため、計画より少ない実績となってしまったが、事業自体の満足度は高く、今後も引き続き実施していきたいと考える。また、より内容の幅を広げるためにも監督署、ハローワークとの連携をさらに深めてきたい。							

富田林商工会

事業名		BCP普及啓発事業							
想定する実施期間		R3 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	平成30年度に大阪府北部を震源とする地震、平成30年7月豪雨、台風19～21号など小規模事業者にも甚大は影響を及ぼす大規模災害が相次いだ。近年は、大規模な直下型地震や南海トラフ地震など大規模地震の発生も想定される中で、個々の小規模事業者の経営だけでなく、サプライチェーンにも大きな影響を与えるおそれがある。大企業では、事前対策の取組が進んでいる一方で、小規模事業者における災害への備えの取組は一部にとどまっており、経営資源が脆弱な小規模事業者は、ひとたび被災すると経営に大きな影響を受ける可能性が高いと考えられる。このような中で、当会として「事業継続力強化支援計画」を令和2年12月に申請し、令和3年4月より実施しており、関係市町村と連携し、自然災害等に備える小規模事業者の取組を支援し、体制、取組を強化することで、持続的発展につなげる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内小規模事業者を対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	事業継続、計画策定セミナーを開催。 開催日時：令和4年11月15日（火）午後3時から 開催場所：富田林商工会館 会議室 開催内容：事業継続の基礎知識、超簡易版BCPシートの策定 参加企業数：16社 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
	①府施策連携	大阪府と連携することで、BCP計画の必要性を円滑に説明することができたとともに、簡易シートの作成についてもスムーズに実施することができた。							
	②広域連携								
③市町村連携	市町村と連携し効果的なPRを行うとともに各行政の施策等を促進することができた。								
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	22.0	総支援企業数(実績)	16.0	支援実績率	72.7%	満足率	93.8%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	コロナ禍での開催であったため計画より実績が下回ったが、予定通り開催することができた。BCP計画の必要性や重要性を再認識してもらうことができ、事業としての効果は感じられた。簡易版BCPシートを作成することで、企業としてBCP策定の意識を高め、今後につなげることができた。							
	代表指標	簡易版BCP作成シート作成企業割合							
	数値目標	20社	実績数値	22社	目標達成度	110.0%			
	成果の代表事例	セミナーを受講し、簡易版のBCP作成シートを作ったことで、自社での取り組みの必要性を再認識し、専門的な相談につなげることにより、BCP計画の策定に進めることができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業実施の調整が難しかったが、実績は、計画を下回ったものの満足度では成果があったと考える。BCP計画の重要性や日常からの危機管理の大切さを理解してもらうことで、簡易シートの作成につなげることができた。セミナー終了後に専門相談を希望される事業者もあったように重要性、必要性を再認識できたと考える。次年度も同様に、簡易版BCPシートの作成から支援につなげていきたい。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	70.0%	満足率	92.9%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーを受講することで、大規模災害に対応できる知識と対応力の向上、簡易版BCPの作成につながった。							
		指標	簡易版BCP作成シート作成企業数						
	数値目標	20社	実績数値	14社	目標達成度	70.0%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	2.0	支援企業数(実績)	2.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーを受講することで、大規模災害に対応できる知識と対応力の向上、より具体的なBCPの策定を検討した。							
		指標	BCPの知識向上、具体的なBCP策定につながった企業数						
	数値目標	2社	実績数値	2社	目標達成度	100.0%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

富田林商工会

事業名		ITツール活用支援事業						
想定する実施期間		H23 年度～ 年度まで ※複数年度段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	○事業を多角的に展開する上でITツールの活用は必要不可欠である。そこで、今話題性のあるソーシャルネットワークサービス等の講習会を実施することにより、企業内でのIT化の促進、ITスキルの向上や販路拡大、ITを導入することによる業務の効率化等が図れるように支援することを目的とする。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	○南河内地域の中小企業、小規模事業者を対象とする。						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	Aコース 開催日時：9月2日、9月9日、9月16日 午後2時～午後4時 開催場所：富田林商工会 開催内容：集客に使える！チラシや動画制作セミナー 参加企業数：20社 Bコース 開催日時：9月21日、9月28日、10月5日 午後2時～午後4時 開催場所：大阪狭山市商工会 開催内容：交流からファン化へ！SNS活用セミナー 参加企業数：25社 Cコース 開催日時：10月12日、10月19日、10月26日 午後2時～午後4時 開催場所：大阪狭山市商工会 開催内容：ファンの囲い込みに！LINE公式アカウント活用セミナー 参加企業数：19社 コロナ禍のに成長する最新IT集客ビジネス活用セミナー 開催日時：11月1日、4日、11日 午後2時～午後4時 開催場所：富田林市市民会館会議室 開催内容：結果を出す！中小企業のWEB活用セミナー 参加企業数：37社						
		＜事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載＞						
		①府施策連携						
②広域連携		各商工会で事業PR、参加事業所募集を実施した結果、非常に多くの参加につながった。また、地域外の事業所とのつながりができ、新たな販路の開拓につなげることができた。						
③市町村連携								
④相談相乗	カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。							
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	107.0	総支援企業数(実績)	104.5	支援実績率	97.7%	満足率	96.0%
事業全体の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	①「集客に使える！チラシや動画制作セミナー」について、アフターコロナを見据えて販売促進活動を推進する上で大事なツールであり、簡単にかつ効果的なツールでもあるので非常に取り組みやすく、満足度も高かった。 ②「交流からファン化へ！SNS活用セミナー」について、情報発信力の強化にはSNSツールが必要不可欠であり、マーケティング戦略でも必須のツールなので事業者の関心も高く、満足度も高かった。SNSの活用が非常に大事であり、活用することで販売促進を促進することができ、売上増加につながった。 ③「ファンの囲い込みに！LINE公式アカウント活用セミナー」については、利用者が多いツールであり、簡単に情報発信ができることで即効性が高く、販路拡大につなげることができた。 ④「結果を出す！中小企業のWEB活用セミナー」①②③のセミナーを踏まえた上で、SNSの重要性、SNSでの発信力強化につながるセミナーを実施、トータルの情報発信力を強化することができ、売上の増加、新規顧客の獲得につなげることができた。						
	代表指標	ITツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合						
	数値目標	70%	実績数値	95.2%	目標達成度	136.0%		
	成果の代表事例	セミナーを受講したことで、今まで活用していた形とは違った活用方法を知ることができ、効果的なツールとして使えることができたことで、販売促進につなげることができた。						
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今年度はコロナ禍でもあり、開催が難しかったが、ほぼ予定通り開催することができた。SNSなどの販促ツールの活用方法などは日々変化しており、それに対応できるようなセミナーの開催内容が望まれる。事業者ニーズをより把握し、アフターコロナに対応できるような情報発信力強化につなげたい。						

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	22.0	支援企業数(実績)	22.0	支援実績率	100.0%	満足率	95.2%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーを受講したことにより、ITツールをより活用する機会が増え、売上の増加、新規顧客の獲得につながった。							
		指標	ITツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合						
		数値目標	70%	実績数値	95.2%	目標達成度	136.0%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	22.0	支援企業数(実績)	21.5	支援実績率	97.7%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーを受講したことにより、ITツールをより活用する機会が増え、売上の増加、新規顧客の獲得につながった。							
		指標	ITツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度③	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	22.0	支援企業数(実績)	21.5	支援実績率	97.7%	満足率	85.7%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーを受講したことにより、ITツールをより活用する機会が増え、売上の増加、新規顧客の獲得につながった。							
		指標	ITツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合						
		数値目標	70%	実績数値	85.7%	目標達成度	122.4%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度④	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	41.0	支援企業数(実績)	39.5	支援実績率	96.3%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーを受講したことにより、ITツールをより活用する機会が増え、売上の増加、新規顧客の獲得につながった。							
		指標	ITツール活用知識の向上や販路拡大することによる売上増加企業割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

富田林商工会

事業名		製品・商品・サービス魅力強化発信事業							
想定する実施期間		H26 年度～ 年度まで ※複数年度段階の実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	商工会管内の事業所の製品、商品、サービスは個性的で、魅力的なものが多数存在しているが、製品、商品、サービスの本来持つ力、魅力等を伝えきれていないのが大部分である。見せ方ひとつで受取る側に与えるイメージやそのものの価値などが変わり、製品・商品・サービスに大きな付加価値を加えることができるということを知り、効果的なデザインの活用について学んでもらい、新たな販路の拡大、自社販売力の向上を目指す。そのことにより今後の開発意欲を高め、社内の意識改革、改善につなげる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内及び河内長野市、大阪狭山市の中小企業、小規模事業者を対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>○セミナー 開催日時：令和4年11月29日（火）PM2：00～PM4：30 開催場所：富田林商工会館 会議室 開催内容：第1部セミナー「WEBデザインセミナー」第2部「ワークショップ」第3部「大阪府施策の説明」 参加企業数18社19名</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <p>①府施策連携 大阪府と連携を図りながら事業を企画、運営、実施したことで、円滑な開催につながった。</p> <p>②広域連携 各商工会で事業PR、参加事業所募集を実施した結果、非常に多くの参加につながった。また、地域外の事業所とのつながりができ、新たな販路の開拓につなげることができた。</p> <p>③市町村連携</p> <p>④相談相乗 カルテ化事業者の地域活性化事業への参加促進や地域活性化事業参加事業者をカルテ化することによる効率的な支援を行った。</p>							
	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	25.0	総支援企業数(実績)	18.5	支援実績率	74.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>開催が難しい状況ではあったが、計画を下回ったものの多くの事業者に参加いただくことができた。WEBやSNSについては関心が高くまた、すぐ取り込むことができる内容であったため、満足度も非常に高かった。セミナー終了後の個別相談にも4社の申し込みがあり専門的な支援が必要であると感じた。</p> <p>代表指標 非対面型ビジネスモデルへの転換を実践していきたいと考える企業割合</p> <p>数値目標 80% 実績数値 100.0% 目標達成度 125.0%</p>							
成果の代表事例	セミナーを受講したことで、自社のホームページを見直し、デザインの統一感を出したり見やすく作りかえたことにより、閲覧数が上がった。								
その他目標値の実績	目標値		目標値		目標達成度				
実施結果	<p>課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）</p> <p>今年度は新型コロナウイルスの影響により事業を開催することが難しかった中、計画を下回ったものの多くの事業者の参加が見込まれ、また、満足度も高く一定の成果はあったと考える。今年度実施したWEBセミナーは関心が高かったものの、情報量が多く、1回での開催では時間が少ないため別事業での取組みを考えていく。次年度は少し内容を変えて開催する。</p>								

達成度	成果の代表事例	セミナーを受講した創業予定者が、具体的な創業計画書を作成、創業したことで、円滑な創業ができた。また、セミナー参加者とネットワークが構築できたことで、地域での販売先の確保ができ、新たな顧客の獲得につながった。		
	その他目標値の実績	目標値(計画)	目標値(実績)	目標達成度
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	新型コロナウイルス感染症が拡大している中での開催ではあったが、計画を上回る実績があったため一定の成果はあったと考える。事業を年4回開催しているため、同じ内容のセミナーになりがちになり、開催ごとに特色を出していく必要があると感じている。次年度も大阪府よろず支援拠点と連携しながら開催していきたいと考えているため、内容等を相談しながら事業を実施していきたい。		

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績/達成度をご記入ください。

実績/達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	16.0	支援企業数(実績)	25.0	支援実績率	156.3%	満足率	92.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーを受講したことにより、創業に対する意識の向上、意欲の向上など創業に取り組む姿勢が伺えた。							
		指標	創業意識が向上した割合(アンケート)						
		数値目標	70%	実績数値	92.0%	目標達成度	131.4%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績/達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	16.0	支援企業数(実績)	21.0	支援実績率	131.3%	満足率	90.5%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーを受講したことにより、創業に対する意識の向上、意欲の向上など創業に取り組む姿勢が伺えた。							
		指標	創業意識が向上した割合(アンケート)						
		数値目標	70%	実績数値	85.7%	目標達成度	122.4%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績/達成度③	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	16.0	支援企業数(実績)	26.0	支援実績率	162.5%	満足率	96.2%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーを受講したことにより、創業に対する意識の向上、意欲の向上など創業に取り組む姿勢が伺えた。							
		指標	創業意識が向上した割合(アンケート)						
		数値目標	70%	実績数値	76.9%	目標達成度	109.9%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績/達成度④	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	16.0	支援企業数(実績)	21.0	支援実績率	131.3%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	セミナーを受講したことにより、創業に対する意識の向上、意欲の向上など創業に取り組む姿勢が伺えた。							
		指標	創業意識が向上した割合(アンケート)						
		数値目標	70%	実績数値	85.7%	目標達成度	122.4%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績/達成度⑤	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	10.0	支援企業数(実績)	10.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	事業に参加したことにより地域を超えた創業者同士の連携ができ、より創業の促進につながった。							
		指標	創業意識が向上した割合(アンケート)						
		数値目標	80%	実績数値	100.0%	目標達成度	125.0%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績/達成度⑥	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	6.0	支援企業数(実績)	6.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	創業者に対してセミナーでは補えない創業知識を個別相談により提供することで、創業しやすい環境づくりを促進するとともに、創業後も引き続き支援を実施できる体制を構築することができた。							
		指標	創業意識が向上した割合(アンケート)						
		数値目標	80%	実績数値	100.0%	目標達成度	125.0%		
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				